
200文字小説「ある文芸雑誌の対談記事」

谷津矢車

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

200文字小説「ある文芸雑誌の対談記事」

【Nコード】

N4303K

【作者名】

谷津矢車

【あらすじ】

200文字小説。あらすじは割愛。

ある文学系作家とエンタメ作家の対談が、にわかには怪しい雲行きになっていた。

それは文学系作家のある一言が原因。

「結局さ、エンタメを書くのは楽だよね。人間を深く洞察しなくていいし」

売り言葉に買い言葉とはよくぞ言ったもので。

「そう言うブンガクこそ楽ですよ。難しい言葉で既知の風俗を書くだけなんですから」

「何をオ？」

「やるんですか？」

そうして二人は掴み合い殴り合いの大喧嘩を始めた。
読者を置いてけぼりにして。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4303k/>

200文字小説「ある文芸雑誌の対談記事」

2010年10月15日19時15分発行